

All Products For Build Up
System

PDC-017取扱説明書

日本システム開発株式会社
Nippon Systems Development Co., Ltd.

目次

1 概要	1
------	---

2 パラメータセッティングの流れ	2
------------------	---

3 スキャナ接続方法	3
------------	---

4 設定パラメータ

4.1 通信条件

先頭コード	5
後頭コード	6

4.2 キーボード I/F 設定

(1) P C 設定	8
(2) 通信条件の設定	8
(3) 種別コード付加位置	9
(4) 国別設定	9
(5) リセットコマンド応答待ちの設定	10
(6) 文字間ディレイ	10
(7) コードページ	12
(8) キーコードセットの設定	13
(9) 使用 C A P S 状態	13

4.3 シンボル種別コードおよび読み取り

データ桁数の付加

シンボル種別コード	14
EAN および UPC 以外のシンボルのデータ数	14
シンボル種別コードの設定	15

4.4 各バーコードシンボル別のオプション

E A N および U P C の読み取り	16
U P C - A のデータフォーマット	17
U P C - E のデータフォーマット	18
N W - 7	19
C O D E 3 9	21
Interleaved 2 of 5 (I T F)	23
Standard 2 of 5	25
C O D E 9 3	27
C O D E 1 2 8	28
チェックディジット送信の設定	29

4.5 ブザーと L E D の制御

読み取り確認ブザー	31
読み取り L E D	31
読み取り確認ブザー・L E D の操作	
タイミング	31
読み取りデータ送信エラー時のブザー	32
ブザー音階調整	32

4.6 スイッチモードの設定

5 シンボル種別コード	35
-------------	----

6 16進表	37
--------	----

7 任意データコード表	39
-------------	----

8 トラブルシューティング	41
---------------	----

9 テストラベル	47
----------	----

10 お問い合わせは	49
------------	----

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への障害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」です。



注意

電源は正しく接続す
ること。



電源の極性を誤りますと発火、発煙などの恐れがあります。また、場合によっては爆発音が発生することがあります。

定格電圧以上の電圧
を印加して使用しな
いこと。



発火・発煙の恐れが
禁止 あります。

分解しないこと。



分解禁止 ショートや発熱により、感電ややけどする恐れがあります。

製品を水に濡らさな
いこと。



水場使用禁止 ショートや発熱により、感電や製品が故障する恐れがあります。

製品仕様

1. 電気的特性

1.1 入力電源電圧

+5.0VDC ±5%

1.2 消費電流

動作状態 : PDC-017-060-IP : MAX 80mA

PDC-017-100-IP : MAX 100mA

(入力電源電圧 5.0VDC)

1.3 突入電流 (スキャナプラグイン時)

突入電流 : MAX 0.5A

(入力電源電圧 5.0VDC)

2. 環境条件

2.1 動作温度 : 0~40°C

2.2 保存温度 : -20~60°C

2.3 動作湿度 : 10~90%RH (非結露)

2.4 保存湿度 : 5~95%RH (非結露)

2.5 外乱光 : 3000Lux 以下

2.6 静電気耐力 : 8KV 誤動作なきこと、
10KV 破損なきこと
(試験条件 : 150PF、330Ω)

3. 読取仕様

3.1 読み取り幅および分解能

	PDC-017-060-IP	PDC-017-100-IP
最大読み取り幅	65mm(左右マージン含む)	105mm(左右マージン含む)
分解能		
・WPC モジュール寸法	0.8~1.8 倍	0.8~1.8 倍
・NW-7, ITF, STF, CODE39	0.125mm	0.19mm
・CODE93, CODE128	0.15mm	0.25mm

3.2 P C S 値

0.45 以上 (波長 660nm) ←WPC シンボル

0.75 以上 (波長 660nm) ←産業用シンボル

1. 概要

PDC-017シリーズは、通信条件や読み取りデータ送信フォーマットおよび各バーコードシンボル毎の読み取り条件を、バーコードを読み取ることで設定できます。

スキャナの電源ON後パラメータ設定モード起動用特殊バーコードを読み取ると、スキャナはパラメータ設定モードで動作します。パラメータ設定モードでは、NW-7、7桁のバーコードにて、各種のパラメータを設定します。

設定されたパラメータは“設定終了コード”を読み取ることによって不揮発性メモリー（EEPROM）に記憶され、電源OFF後も保持されます。

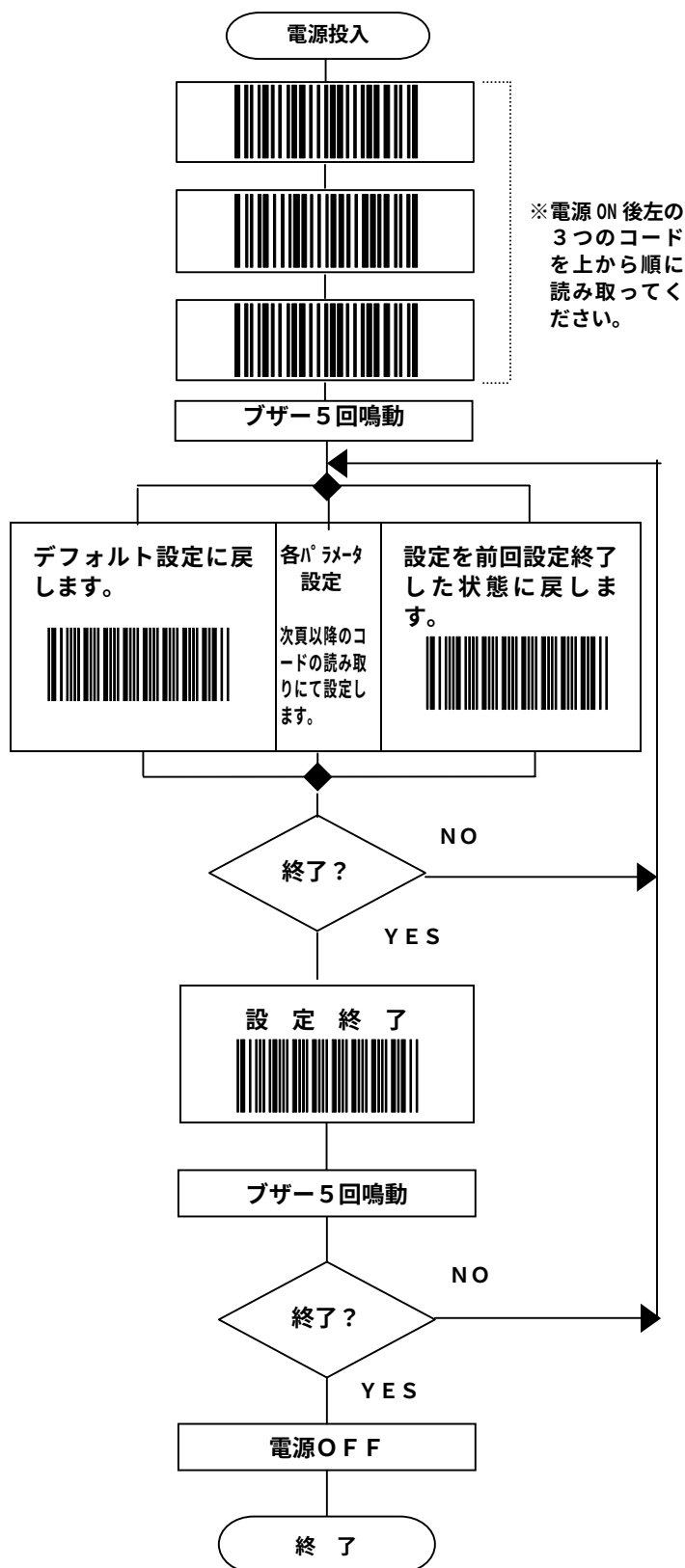
パラメータ設定モードの解除は、一度電源をOFFするか、パラメータ設定モードで使用しているNW-7、7桁以外のバーコードの読み取りで行われます。

注意

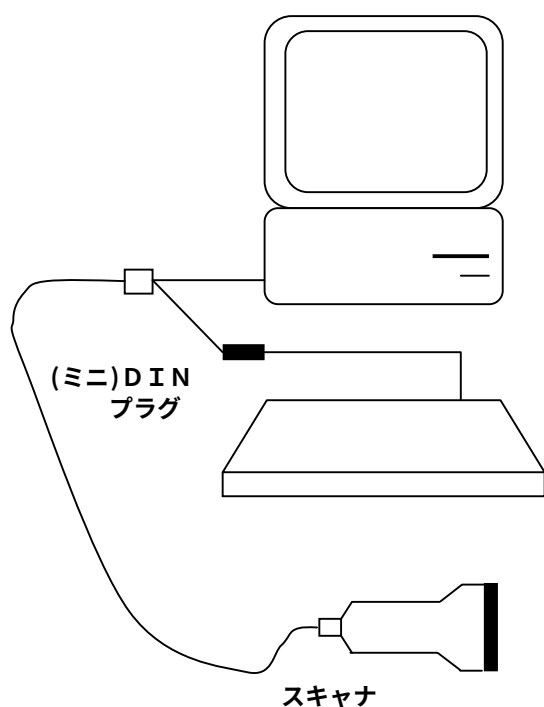
カナモードではデータを正常に送信できません。
スキャナ使用時は英数モードでご使用ください。

スキャナの読み取り動作とキーボードの操作を同時に行わないでください。

2. パラメータセッティングの流れ



3. スキャナ接続方法

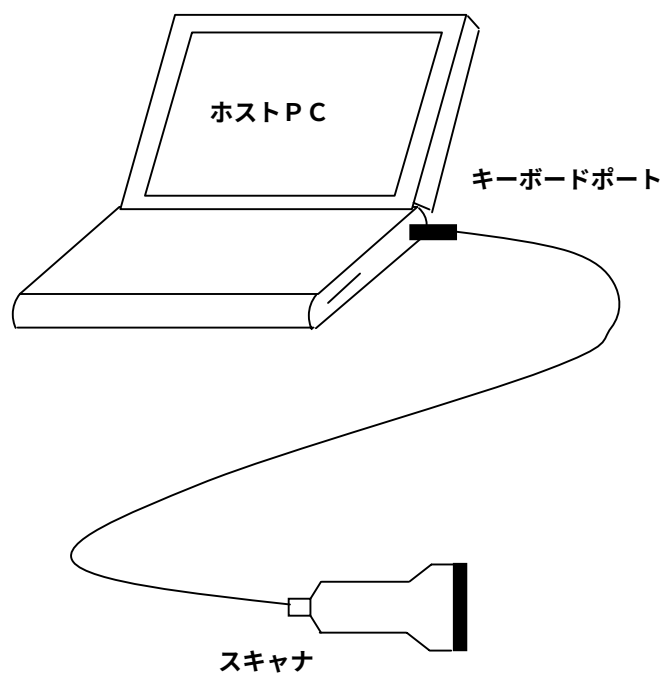


1. パソコンの電源を切ります。
2. キーボードをパソコンから抜きます。
3. デスクトップ用ケーブルとキーボードを接続します。
4. デスクトップ用ケーブルとパソコンを接続します。
5. 接続終了

パソコンの電源を入れてください。

注意

パソコンの電源を入れた状態で、ケーブルを接続するのはやめてください。



1. パソコンの電源を切ります。
2. スキャナをパソコンのキーボードポートに接続します。
3. 接続終了

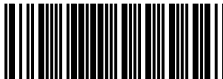
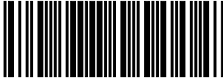
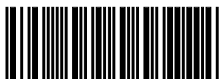
パソコンの電源を入れてください。

注意

パソコンの電源を入れた状態で、ケーブルを接続するのはやめてください。

4. 設定パラメータ

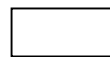
4.1 通信条件

先頭コード	
 なし	◀ Default
 ESC	
 HT (TAB)	
 ユーザ選択 1 バイト	
↓ 上のバーコード入力後、6 項「16 進表」で先頭コードの任意データコードを入力ください。	

*****NOTE*****



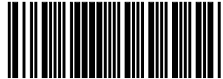
: 工場出荷設定



: 選択可能設定



: デフォルト設定

後頭コード	
	 HT (TAB)
Default ▶	 改行
	 実行
	 ターミネータ無し

ユーザ選択1バイト



1バイト目の設定

16進表(6項)で任意データコードを入力してください。
「00」を設定すると、後頭コードなしで送信されます。

ユーザ選択2バイト



2バイト目の設定

16進表(6項)で任意データコードを入力してください。
“ユーザ選択1バイト”の設定時は“00”を入力してください。

4.2 キーボードE/F設定

(1) PC設定

- ・ご使用になるパソコンの種類を設定します。外付けキーボードとスキャナを併用する場合は、“デスクトップ”に設定してください。

PC設定



ノートブック

Default ▶



デスクトップ

(2) 通信条件の設定

PDC-017-100-IP には、以下の設定が必要です。

接続するPCによって設定を変更してください。

設定1：PC／AT互換機（IBM製PC除く）

設定2：IBM製PC

出荷設定は、“設定1”となっています。

デフォルト設定は、“設定2”となります。

通信条件の設定



設定1

Default ▶



設定2

(3) 種別コード付加設定

- ・種別コードの位置を設定します。以下の2種類の位置が選択できます。シンボル種別コード“付加する”に設定した場合のみ有効です。

種別コード付加位置	
	◀ Default
	

NOTE ;

- ・キーを押した状態でスキャナを使用しないでください。
“ALT、SHIFT、CTRL”キーが押されていると正しいデータが送信できません。

(4) 国別設定

キーボードの設定ができます。

国別設定
INTERNATIONAL  ▲ Default
JAPANESE 
US 

(5) リセットコマンド応答待ち設定

- ・「ノートブック」設定時のみ有効です。

NEC製PC98NXシリーズなどに接続の際には「応答待ちしない」に設定することで対応可能です。

リセットコマンド応答待ち設定	
	◀ Default
	

(6) 文字間ディレイ

- ・システムとスキャナのデータ転送速度の調整にご使用ください。スキャナの転送速度が速すぎると、文字落ちが起こる場合があります。次のメニューシートの中から完全なデータを転送可能なディレイを選択してください。

文字間ディレイ

0.5ms



1ms

Default ▶



5ms



10ms



15ms



30ms



50ms



100ms



130ms



(7)コードページ（JAPANESE、UK 設定時のみ有効）

以下のキャラクタはP Cのコードページ設定の影響を受けます。各国別設定時に以下のキャラクタが表示されない場合は“コードページ”設定を変更してください。

J A P A N E S E : “ ” (A S C I I “ 7Eh ”)

U K : “ | ” (A S C I I “ 7Ch ”)

PDC=017-060-IP : Code Page 857、932

PDC=017-100-IP : Code Page 437

デフォルト、出荷設定共、上記の通り設定されます。

コードページ



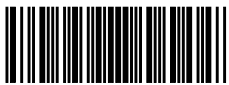
Code page 437



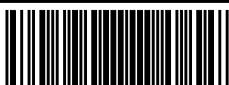
Code page 857、932

(8) キーコードセットの設定

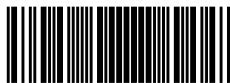
SET 2にてPCに正常データが送信されない時は、SET 1またはSET 3に変更してください。

キーコードセットの設定	
 SET 1	
Default ▶	 SET 2
	 SET 3

(9) 使用CAPS状態

使用CAPS状態	
 O N	
Default ▶	 O F F

4.3 シンボル種別コードおよび 読み取りデータ桁数の付加

シンボル種別コード	
 付加する	⇒ 15 ページへ
Default ▶	 付加しない

EANおよびUPC以外の シンボルのデータの桁数	
 付加する	
Default ▶	 付加しない

シンボル種別コードの設定

[シンボル種別コードを“付加する”時に有効なパラメータ]
(シンボル種別コード表 (5 項) 参照)



シンボル種別コード表の設定 1



シンボル種別コード表の設定 2



シンボル種別コード表の設定 3

◀ Default

ユーザ選択 1 バイト
シンボル種別コード表で
入力してください。

*シンボル種別コード表により、どのシンボルを設定するか入力し、次にシンボル種別コードのアスキーコードを 16 進表 (6 項) で入力してください。

4.4 各バーコードシンボル別のオプション

EANおよびUPCの読み取り
(UPC-D 3 は除く)

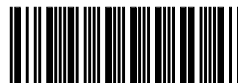


サブリメンタルコードを
無視して読み取る

◀ Default



サブリメンタルコード付
のみ読み取る



サブリメンタルコードなし
および、サブリメンタルコ
ード付ともに読み取る



読み取り禁止

UPC-Aのデータフォーマット



UPC-Aフォーマット
チェックディジット付

◀ Default



UPC-Aフォーマット
チェックディジットなし



EAN-13フォーマット
チェックディジット付



EAN-13フォーマット
チェックディジットなし

UPC-Eのデータフォーマット



UPC-Eフォーマット
ナンバーシステム"0"付

Default ▶



UPC-Eフォーマット
ナンバーシステム"0"なし



UPC-Aフォーマット



EAN-13フォーマット



チェックディジット付

◀ Default



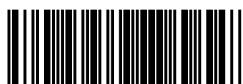
チェックディジットなし

NW-7

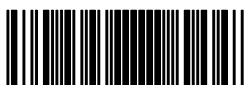


読み取り許可

◀ Default

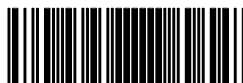


読み取り禁止



スタート・ストップコード
を送信する

◀ Default



スタート・ストップコード
を送信しない



スタート・ストップコード
の送信を A / B / C / D
とする

Default ▶



スタート・ストップコード
の送信を a / b / c / d
とする



チェックディジットを照合する

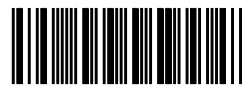
Default ▶



チェックディジットを
照合しない



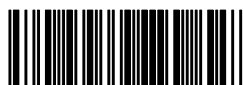
最小桁数設定
(デフォルト値 03)



最大桁数設定
(デフォルト値 99)

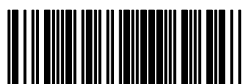
上のラベルを入力後、16 進表 (6 項) を用いて 01~99 の
範囲で 10 進数で入力してください。

CODE 39

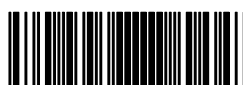


読み取り許可

◀ Default



読み取り禁止

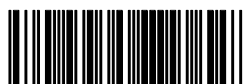


スタート・ストップコード
“*”を送信する

Default ▶

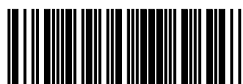


スタート・ストップコード
“*”を送信しない



チェックディジットを
照合する

Default ▶



チェックディジットを
照合しない



最小桁数設定
(デフォルト値 01)



最大桁数設定
(デフォルト値 99)

上のラベルを入力後、16 進表 (6 項) を用いて 01~99 の
範囲で 10 進数で入力してください。

読み取りモード



ノーマル読み取り

◀ Default



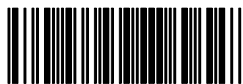
CODE39 フルアスキー

Interleaved 2 of 5 (ITF)



読み取り許可

◀ Default

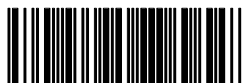


読み取り禁止



チェックディジットを
照合する

Default ▶

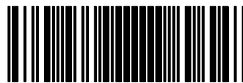


チェックディジットを
照合しない



ラベルによる桁数自動設定

Default ▶



ラベルによる桁数自動設定なし



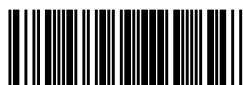
最小桁数設定
(デフォルト値 04)



最大桁数設定
(デフォルト値 99)

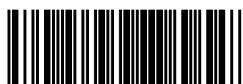
上のラベルを入力後、16 進表 (6 項) を用いて 01~99 の
範囲で 10 進数で入力してください。

Standard 2 of 5

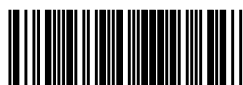


読み取り許可

◀ Default

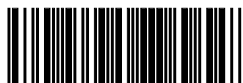


読み取り禁止



チェックディジットを
照合する

Default ▶



チェックディジットを
照合しない



ラベルによる桁数自動設定

Default ▶



ラベルによる桁数自動設定なし



最小桁数設定
(デフォルト値 03)



最大桁数設定
(デフォルト値 99)

上のラベルを入力後、16 進表 (6 項) を用いて 01~99 の
範囲で 10 進数で入力してください。

CODE 9 3



◀ Default



上のラベルを入力後、16 進表（6 項）を用いて 01～99 の範囲で 10 進数で入力してください。

CODE 1 2 8



◀ Default



上のラベルを入力後、16 進表（6 項）を用いて 01～99 の範囲で 10 進数で入力してください。

チェックディジット（C/D）送信の設定

NW-7



Default ▶



CODE 39



Default ▶



ITF



Default ▶



STF



Default ▶



EAN-13



Default ▶



EAN-8



Default ▶



4.5 ブザーとLEDの制御

読み取り確認ブザー



読み取りLED



読み取り確認ブザー・LEDの動作タイミング



Default ▶



読み取りデータ送信エラー時のブザー



ブザー音階調整



Default ▶



4.6 スイッチモードの設定

本スキャナには、以下のモードがあります。

(1) 連続読み取り

スイッチの監視を行いません。

(常時読み取り可能状態です)

(2) モーメンタリスイッチ

スイッチを押している間のみ照明LEDがONします。

(3) オルタネートスイッチ

スイッチを押し離し動作毎に照明LEDのON／OFFが替わります。

(4) オートOFFスイッチ1

スイッチを押すと照明LEDがONします。以下の条件で照明LEDがOFFとなります。

①バーコードを読み取り、データ送信を完了したとき。

②スイッチを離してから5秒経過したとき。

(5) オートOFFスイッチ2

スイッチを押すと照明LEDがONします。以下の条件で照明LEDがOFFとなります。

①スイッチを離してから5秒経過したとき。

②最終読み取りデータを送信してから5秒経過したとき。

スイッチモードの設定



連続読み取り

◀ Default



モーメンタリスイッチ



オルタネートスイッチ



オートOFFスイッチ1



オートOFFスイッチ2

5. シンボル種別コード表

* “ユーザ選択1バイト”の設定は、各シンボル毎に1バイトの種別コードをアスキーコードで設定します。

シンボル種別を右表のバーコードで選択後、アスキーコード（6項）を16進数（5項）で入力してください。

設定できるアスキーコードは00, 01, 02および20～7Eの範囲です。

00入力時…そのシンボルには種別コードが付加されません。

01入力時…‘FF’2バイトの種別コードが付加されます。

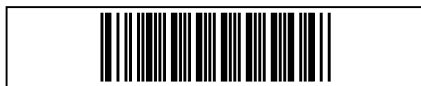
02入力時…‘D3’2バイトの種別コードが付加されます。

シンボル種別	設定 №1	設定 №2	設定 №3	ユーザ選択1バイト
EAN-13	A	A	F	
EAN-8	B	B	FF	
UPC-A	A	A	A	
UPC-E	E	C	E	
NW-7	N	X	N	
CODE39	C	Y	M	
ITF	I	Z	I	
STF	H	H	H	
CODE93	L	L	L	
CODE128	K	K	K	

6. 16進表



0



1



2



3



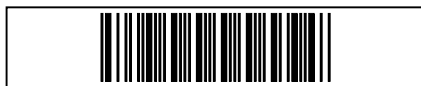
4



5



6



7



キャンセル

＊上の 16 進表を使って上位、下位の順で入力し、最後に“設定”を入力します。

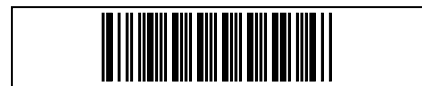
＊10 進数入力の場合は 10 の位、1 の位の順番に 16 進数と同様に入力します。このとき、A～F は入力しないでください。

＊途中で“キャンセル”を入力した場合は、その設定項目を最初から再入力してください。

＊“設定”を入力後の“キャンセル”入力は無効です。その設定項目を最初から再入力してください。



8



9



A



B



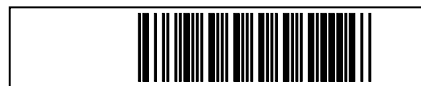
C



D



E



F



設定

7. 任意データコード表

		上 位		
		0	1	2
下 位	0	NUL	DLE	SPACE
	1	SOH	DC1	!
	2	STX	DC2	”
	3	ETX	DC3	#
	4	EOT	DC4	\$
	5	ENQ	NAK	%
	6	ACK	SYN	&
	7	BEL	ETB	,
	8	B S	CAN	(
	9	H T (TAB)	E M	)
	A	L F	SUB	*
	B	V T	ESC	+
	C	F F	F S	,
	D	C R (改行)	G S	-
	E	S O	R S	.
	F	S I	U S	/

3	4	5	6	7
0	@	P	`	p
1	A	Q	a	q
2	B	R	b	r
3	C	S	c	s
4	D	T	d	t
5	E	U	e	u
6	F	V	f	v
7	G	W	g	w
8	H	X	h	x
9	I	Y	i	y
:	J	Z	j	z
;	K	[	k	{
<	L	\	l	
=	M	]	m	}
>	N	^	n	~
?	O	_	o	DEL

8. トラブルシューティング

PDC-017シリーズ トラブルシューティング

PDC-017シリーズでのトラブルシューティングについて説明しています。

必要に応じてお読みください。

● PCの電源を立ち上げると“KEYBOARD ERROR”または“ERROR 301”と表示される。

・デスクトップPCの場合

PC側のコネクタの接続状態を確認してください。

ミニDIN（DIN）コネクタを奥まで確実に挿入してください。

・ノートPCの場合

PC設定を“ノート”とします。

PC側のコネクタの接続状態を確認してください。

● デスクトップ用ケーブルで使用时、外付けキーボードからの入力ができない。

・PC設定を“デスクトップ”とします。

“ノート”に設定されていると、キーボード側から入力できません。

・キーボード側コネクタの接続状態を確認してください。

● ラベルの読み取りができない。

・PC側がキーボード入力可能であることを確認してください。

PC側がレジュームモード低消費電力モードとなっている場合は、このモードを解除してください。

・読み取るバーコードラベルが“読み取り許可”設定であることを確認してください。

・“C/D照合する”の設定に鳴っている場合は、C/D付きのラベルのみ読み取りとなります。

C/Dの設定をご確認ください。

● スキャナからPCへデータ送信時、桁落ちが発生する。

・文字間ディレイの設定を現在の設定内容よりも大きな値とします。

（例） 10msec → 30msec

・ITFおよびSTFラベルはバーコードの構造上、桁落ちが発生することがあります。読み取りラベルがITFまたはSTFの場合は、最小桁数設定、または読み取り許可桁数の自動桁数設定を行ってください。

（例1） 読み取りラベルがITF 12桁の場合、読み取り最小桁数の設定を“12桁”に設定してください。
この設定により、桁落ちを防止することが可能です。

（例2） 読み取り許可桁数の自動設定

バーコードメニューブックにて、“ラベルによる自動桁数設定”にします。

この設定にすることで、電源立ち上げてから1番目と2番目に読み取ったラベルの桁数のみ読み取ります。

● スキャナからPCへデータ送信時、PC側のブザーが鳴動する。

文字間ディレイの設定を現在の設定内容よりも大きな値とします。

PC側ブザーは、PCキーボードバッファのオーバースターです。

●大文字（小文字）のデータを読み取ったが、小文字（大文字）データが表示される。

使用CAPS状態の設定を変更します。PC側のCAPS状態を確認して、ON状態でご使用の場合は“ON”を、OFF状態でご使用の場合は“OFF”を設定してください。

●読み取り完了ブザーは鳴動するが、PC画面上にデータが表示されない。

国別設定を変更します。

INTERNATIONALモードでは、データを認識できないアプリケーションソフトが存在します。これらアプリケーションソフト上でスキャナを使用する場合は、ご使用のキーボードタイプに設定してください。

(例) INTERNATIONAL →
JAPANESE

●数字読み取り時に文字化けが発生する。

(例) バーコードデータ 1234 →
PC画面上表示データ ! " # \$

PC側がシフトブレイクコード受信時にエラーとなりました。この為、PC側はシフトキーが押されていると認識していますので、PC画面上表示データが上記となります。キーボード上のシフトキーを押すことで正常状態に復帰します。

この現象は、バーコード読み取りデータ送信中にキーボード上のキーを押した場合に発生します。スキャナがデータ送信中は、キーボード上のキーを押さないようにしてください。

●送信データの表示がおかしい。

(1)数キャラクタの表示がおかしい場合

国別設定を変更します。

ご使用のキーボードとスキャナ設定が違くと正常データを送信できません。

(2)限定された1キャラクタ“ ”または“ | ”が表示されない。

コードページの設定を変更します。

日本仕様、またはイギリス仕様のキーボードをご使用されている場合、コードページの設定が正しくないと上記キャラクタが表示されません。

(3)全キャラクタの表示がおかしい場合

コードセットの設定を変更します。

コードセット1とコードセット2が異なると全キャラクタが正常に送信されません。

●ケーブルの状態により読み取り可能となったり不可能となったりする。

ケーブルの断線の可能性があります。弊社担当者までご連絡ください。

●パラメータ設定が行えない、パラメータ変更が有効とらない。

パラメータ変更を行った後は、“設定終了ラベル”を読み取ることで不揮発性メモリに書き込まれます。設定終了ラベルを読み取らずに、設定ラベル以外のラベルの読み取りをしたり、電源をOFFすると、変更したパラメータ内容は破棄されます。

●バーコード読み取り時にスキャナから“ピピピッ”と3回ブザー音が鳴る。

- ・PC側がキーボードからのデータ送信を禁止している時に、スキャナにてバーコードの読み取りを行うと、エラーブザー（「ピピピッ」）が鳴動します。
PCのキーボードからデータが入力可能であることを確認してから、再度バーコードの読み取りを行ってください。
- ・ノートPCにスキャナを接続する場合、ノートPCの電源をOFFせずにスキャナを接続すると、ノートPCにスキャナ（外付けキーボード）が接続されていることが認識されない場合があります。この場合、PCは外付けキーボードポートを入力禁止としています。このため、スキャナにてバーコード読み取り時にエラーブザーが鳴動します。PCにスキャナを接続する時は必ずPCの電源をOFFしてから接続してください。

●どうしても解決できない時は…

前述のトラブルシューティングにて解決できない場合は、弊社担当者までご連絡ください。

その時には、事前に次のことを確認して担当者にお伝えください。

- ・スキャナの型名とシリアルNo.（スキャナ下面のラベルに記載されています。）

（例） PDC-017-060-IP
SER. No670001

- ・接続されているPC機種名（メーカー名、型名、デスクトップ型 or ノート型）

（例）① IBM PC300GL 6272-16J
デスクトップ型
② 富士通 FMV-BIBLO
NA-5150NA3/X
ノート型

- ・PC上で使用されているOSおよびアプリケーションソフト

（例）① OS：MS-Windows95

アプリケーション：EXCEL95

（例）② OS：MS-DOS 3.30D

アプリケーション：Lotus123

- ・現象（何が起こりましたか？読み取ったラベル、画面上に表示されたデータは何ですか？）

（例）① バーコード（種類：CODE39、データ“ABCD”）を読み取ると、データ“B”が表示されない。PC画面上データ“ACD”

② バーコード（種類：ITF、データ“29121069”）を読み取るとPC画面上に何も表示されない。バーコードの読み取り完了ブザーは鳴動する。

- ・再現性（何度やっても発生しますか）

（例）① 10回読み取り操作を行い、そのうち2回で現象が発生した。

② 何度やっても発生する。

③ 再現しない。

9. テストラベル

EAN-13



EAN-8



UPC-A



UPC-E



NW-7 (CODABAR) no C/D



NW-7 (CODABAR) with C/D



CODE 39 no C/D



CODE 39 with C/D



Interleaved 2 of 5 no C/D



Interleaved 2 of 5 with C/D



Industrial 2 of 5 no C/D



Industrial 2 of 5 with C/D



CODE 93



CODE 128



10. お問い合わせは

日本システム開発株式会社

本社

〒550-0013

大阪市西区新町1丁目7番20号

システムギア大阪ビル

TEL 06-4391-9880 FAX 06-4391-9878

営業拠点

東京

〒105-0014

東京都港区芝1丁目10番11号

コスモ金杉橋2F

TEL 03-5730-1200 FAX 03-5730-1201

名古屋

〒460-0002

名古屋市中区丸の内2丁目10番19号

市川ビル4F

TEL 052-221-9388 FAX 052-212-4403

大阪

〒550-0013

大阪市西区新町1丁目7番20号

システムギア大阪ビル

TEL 06-4391-9881 FAX 06-4391-9879

宝塚

〒665-0045

宝塚市光明町30番12号

TEL 0797-74-2201 FAX 0797-74-2211

福岡

〒812-0014

福岡市博多区比恵町3番17号

フェイズイン博多ビル2F

TEL 092-432-2130 FAX 092-432-2136

技術的なお問い合わせ先は

サポートデスク

E-MAIL : support@nsd-inc.co.jp

最新情報はインターネットをご覧ください

<http://www.systemgear.co.jp>